

SIMON SHLOMO KAHN

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- World-record Breaking Beatboxer
- World Looping Champion



Topics

- Art & Culture
- Creativity
- Motivation

SimonShlomoKahnは、世界のトップにいることがどのように感じられるかを知っています。10年以上にわたり、ジャンルを超え、受賞歴のある、記録破りのビートボックス、プロデューサー、ライブルーパーは、彼の技術に新しい基準を打ち立ててきました。

シュロモとして、彼はビョークと協力し、デーモン・アルバーン、リリー・アレン、ジャービス・コッカーからイモーゼン・ヒープ、マーサ・ウェインライト、ルディメンタルまでの有名なファンと共演し、主流に突入しました。史上初の世界ループチャンピオンとして、彼は友人のエド・シーランにいくつかのトリックを教えました。彼はロンドンのサウスバンクセンターで最初の非古典的なアーティストインレジデンスになり、グラストンベリーで彼が覚えているよりも何度もメインステージを演じ、自伝的な個展で絶賛され、彼についての長編映画も制作しました。

しかし、トップを維持することはますます維持するのが難しくなります。立っている拍手喝采と称賛にもかかわらず、彼は奇妙なことに中が空っぽに感じたでしょう。3年前、彼は自分が望むものを解決するために一歩後退し、彼の世界は彼の足元で崩壊しているように見えました。「私はいつも信じられないほど運転されていました」と、現在ソロアーティストのSK Shlomoとして戻ってきたロンドン生まれのミュージシャンは言います。「しかし、最終的には私の精神的健康を犠牲にしました。」

彼の再発明の背後には、20代を通して、他のアーティストや映画やコマーシャルのために作曲やプロデュースを行ったにもかかわらず、失敗を恐れて必死になりたかったソロレコーディングアーティストになることに抵抗していたという認識があります。去年の夏、変わることを決意して、彼は自分自身に挑戦を設定しました-1か月間毎日曲を書くこと。最初の5日間、彼は配達しました。その後、物事は痛みを伴う停止に落ち着き、精神的な衰弱を引き起こし、6ヶ月の治療につながりました。PTSDと診断され、彼は過去に立ち向かうことを余儀なくされました。

「子供の頃からの大きなトラウマについて話すことは、大きなターニングポイントでした」と彼は言います。「その時、このアルバムが何であるかを理解しました。それは私がこれまでにできたトラウマのすべてであるため、降伏と呼ばれます-降伏し、手放し、信頼します。それは力を与え、あなたの周りのすべてをコントロールしようとするのをやめます。」

彼の新しいモニカSKShlomoの下で、彼はカリブー、ジェイミソフン、FKAツイッグス、ジェイムスブレイク、マッシュヴァアタックをたくさん聴いた後、「ダークポップ」の方向に進んでいることに気づきました。

このアルバムのリリースは、SKShlomoがうつ病との戦いからほぼ2年後にバ

パフォーマンスに復帰するきっかけとなりました。カムバックは勝利として歓迎されました。グラストンベリーでのアザーステージのプレイ、BBCラジオ1からのアルバムサポートの受信、感動的なTEDトークの作成、エディンバラフリンジの最終選考に残ったサレンダーのステージ適応など、130を超えるショーの猛烈なツアーメンタルヘルス賞。SKシュロモが戻ってきて、これまで以上に力強くなりました。

「私の音楽での成果はどれも、従来の方法では実現しませんでした」と彼は言います。「私はいつも、自分の道を作るために、すべてを違ったやり方でやろうと努力しました。しかし、私にとっての最大の課題は、ステージに立ち、単に自分らしくいることだと気づきました。巧妙な機械の後ろに隠れることも、凝った技術も、ペルソナもありません。これは、いわば裸の本当の私です。これは私が今まで試した中で最も恐ろしく、最もエキサイティングなことです。」